

2012 年度 小委員会活動成果報告

(2013 年 2 月 1 日作成)

小委員会名	強震観測小委員会	主 査 名：飛田 潤 就任年月：2011 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 振動運営委員会	委員長名：中島正愛 主 査 名：福和伸夫
設 置 期 間	2009 年 4 月 ～ 2013 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各地域・機関の強震観測体制と観測データの情報交換・検討 (09～12 年度) ・ 観測記録の分析による地盤震動、建物応答、防災安全等の検討 (09～12 年度) ・ オンライン版強震観測の手引きの作成・改定 (09～12 年度) ・ 強震観測台帳の整備・拡充 (11～12 年度) 	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無	
	主査：飛田潤 (名古屋大学) 幹事：植竹富一 (東京電力)、中村充 (大林組) 委員：青井真 (防災科学技術研究所)、池浦友則 (鹿島建設)、上林宏敏 (京都大学)、鹿嶋俊英 (建築研究所)、片岡俊一 (弘前大学)、北川良和 (元慶應義塾大学)、猿田正明 (清水建設)、高井伸雄 (北海道大学)、源栄正人 (東北大学)、山村一繁 (首都大学東京)、吉田治雄 (竹中工務店)、山本優 (大成建設)	
設置 WG (WG 名：目的)	強震観測の手引き編集WG ：強震観測と観測記録の活用に関するオンライン版入門書「強震観測の手引き」の編集を行う。	
2012 年度予算	190,000 円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス：http://wiki.arch.ues.tmu.ac.jp/smo_aij/

項 目	自己評価
委員会開催数	4 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) * 能力開発支援事業委員会 承認企画	
大会研究集会	1. PD：強震観測とモニタリング技術が災害時に果たすべき役割 (構造ヘルスマニタリング小委員会と共同) 参加者数 185 名 『構造部門 (振動) パネルディスカッション資料：同上』
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 委員会 (4 回開催) 等において、各地域・機関の最近の観測事例、観測システムの動向、観測記録などに関する情報交換・検討を行った。 2. 観測記録の分析による地盤震動、建物応答、防災安全等の検討を行った。東北地方太平洋沖地震に関する分析を進めるとともに、将来の観測のありかたを検討し、大会 PD において議論を行った。 3. オンライン版強震観測の手引きの改訂を進めた。 4. 強震観測台帳の見直しを行い、大幅に拡充した。 以上により当初計画における目的を十分に達成した。
委員会活動の問題点 ・ 課題	1. 地方の強震観測状況に関する情報収集体制のありかた。 2. 防災目的や構造ヘルスマニタリングのために実施されている観測記録の状況把握と活用。 3. 以上に加えて強震観測記録の共有、活用の重要性が以前から認識されており新年度からはそのための基盤整備を検討することとしている。